

WS 新シーズン かもめが変わる！

# ボイストレーニングの効果をその場で実感・実践 するワークショップ

## 第2回 ボイトレ×チェーホフ

8月に開催し、ご好評頂いた「ボイトレの効果をその場で実感・実践するWS」の第2弾！  
今回は演劇界に今も燦然と輝くチェーホフ作品を素材に、ボイトレと実演を同時に行います。

まずは……チェーホフの代表作（長編戯曲抜粋）を使って現状をチェック！

次に……課題を踏まえてボイストレーニング！

最後に……チェーホフの魅力が詰まった短編を今回のWS用に戯曲化した特別テキスト  
を使ってたっぷり実演！ 適宜ボイトレの効果をフィードバック！

**長編戯曲も短編小説も！ チェーホフの魅力、いいとこ取り！！**

歌舞伎の世界は基本的に全体で行う稽古は通しのみで、割り稽古や抜きは各自が日ごろから行っておくもの  
のだそうです。朗読パンダの公演用稽古も基本的にはその方法を踏襲しています。そこで、その方法をWS  
にも応用することにし、第1回のボイトレ×新作台本WSを開催しました。ボイトレを経て各段に迫力のある  
演技へと進化していく様子を実感された方が多く、手ごたえのあるものでした。実践してこそ見つか  
る弱点を正確に捉え、ボイトレで丁寧に修正し、それをもって実践に戻す。この方法を継続することで、  
どんな現場でもたじろがない揺るぎない自信と技術を手にして下さい。

【日時】 10月11日（日） 16時～20時（途中休憩あり）

【会場】 studio ova（JR「原宿駅」「明治神宮前駅」から徒歩10分）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-31-8 FKビル B1 新型コロナウイルスに対する法令を遵守し、会  
場の衛生管理にはスタジオをあげて配慮しておりますのでご安心下さい。いずれは廃止されるべき社会的  
距離なるものも現状では確保します。本会場は一般貸しをしておりませんので、不特定の使用者が出入り  
することはありません。なお、状況が変化した場合には接触を避けるためにボイストレーニングのみスタ  
ジオと講師宅を繋いでのリモート指導になる可能性や、法令に基づき、WSの中止という判断もございま  
す。ご了承下さい。

【参加費】 3000円（場所代、コピー代等含む。遅刻等での途中参加も可能ですが、料金は変わりません）。  
学生は500円引き（当日学生証をご提示下さい）。リピーター割引あり。

【募集人数・参加資格】 10名まで。年齢・性別・経験は問いません。初心者の方も歓迎します。とにかく芝居がしたい！という動機の方、大好きです。次回弊団の公演に出演を希望される方で、弊団の制作方法や雰囲気を経験の方は一度受講されることを推奨しています。ロシア文学に興味がある方、小説の戯曲化について学びたい脚本勉強目的の方も歓迎です。

【お申込み・お問合せ】 下記アドレスまで必要事項を記載の上で、メールで受け付けております。定員になり次第受付終了しますが、WS の開催日前日までお申込み可能です。roudokupannda@gmail.com  
上記メールアドレスに以下の必要事項をご記載下さい。

- (1) お名前 (ふりがな)
- (2) 性別・年齢
- (3) 当日連絡の取れる電話番号
- (4) 演技経験の有無・経験年数など (簡単で構いません)

※お申し込みいただいた方には上記メールアドレスから、地図等の詳細を e メールにてご連絡します。  
なお、お預かりした個人情報は朗読パンダが厳重に保管し、本 WS に関する諸連絡以外に使用することはありません。

### 1) 勘違いされる「基礎トレーニング」

基本の姿勢、発声は大切です。が、基礎トレーニングさえしっかりやれば演技が上達するというわけではありません。また、多いのが基礎トレーニングではできたことが、実演になるとすっぱり抜け落ち、演技に活かされていないパターンです。これは全て基礎トレーニングに対する認識とその実践方法の勘違いから起きる悲劇です。

### 2) 永年の教員経験から編み出した新方式

私は教員として、高校・予備校・大学で「国語」や「基礎教養」を教えてきました。そこで多く目にしたのが、日々の課題は丁寧にこなし、定期試験では良い点数が取れるのに、そこで止まってしまう生徒・学生です。彼ら、彼女ら (フェミニストを挑発する意図はありませんが、女子学生に多い。それを単に「男女の違い」なんて安易に片付けしないで、その原因を探究することは興味深いことですが、それだけで1冊の本になっちゃうので割愛) は、真面目にやっているのです。が、模擬試験や大学入試になると成果がでない。なぜか。それはインプットとアウトプットの関係性を正確に把握していないことにあります。まず、基礎学習を構築した上に応用があると信じていること。しかし、基礎の構築に終わりはありません。その完成はいつ、いつになるのでしょうか。さらに、インプットした情報は「そのままアウトプットできる」と信じていることです。入試は一問一答形式の問題は割合としては多くありません。せっかく覚えた情報も、いつ、どこで、どう使えばいいかを理解していないと、使いものにならないのです。そこで私が教室で実践してきた方法は、まず最初に実戦形式の問題をやり、そのできなかった部分に関してドリル演習に戻るといった方法です。これはスポーツを始めたときのことを思い出して頂ければわかりやすいと思います。例えば野球です。あんな複雑なルールを全部覚えてからゲームに参加しましたか？ ルールなんてだいたい、ゲームをやりながら覚えていったのではないのでしょうか。もちろん、ゲーム中に自分がまだ知らないルールが「後出し」で登場し、「そんなの聞いてねえよ！」と思いながら覚えたルールもあるでしょう。勉強も同じ、そして演技も同じです。(ちなみに、私は担当したクラスの偏差値は必ず上げてきました。)

### 3) まず実演して課題を把握 (約 50 分)

そこで今回の WS では、まず最初に 50 分ほど使って、実演をして頂きます。その演技を演出担当の私・大塩と、プロボイストレーナーの近藤隆幸講師が見せて頂き、参加者の方の補強すべき基礎要素を、おひとりずつ「発見」します。

使用する台本はチェーホフの代表的な戯曲からの抜粋です。これは上演機会も多く、オーディションや各種査定などでも使用されるなど、演技の世界に身を置くならば触れておくことが推奨される戯曲です。こちらを使って、何をしなければいけないかを共有していきます。

#### 4) 論理的なボイストレーニングで基礎を「補強」する(約100分)

次に、近藤講師によるボイストレーニング。基本的な姿勢、立ち方、発声方法を丁寧に指導致します。近藤講師は、理学療法士の資格も持つボイストレーナーとして、専門学校や個人指導で、声の悩みを解決している声優、ナレーターです。その指導法は科学的根拠に裏打ちされた論理的かつ実用的なものであり、これまでも弊団WSで、参加者全員が効果を実感した瞬間をなんども見せてくれました。その指導により、各位の課題に即した「補強」「強化」「今後取り組むべきこと」をご提案します。

#### 5) 再び実践(約80分)

最後に、もう一度、最初より時間をとって、台本に向き合います。

今回のポイントは、チャーホフの短編を戯曲化した特別テキストにあります。実はチャーホフの最大の魅力は短編小説にこそあると私は考えています。初めてチャーホフに触れる方にこそ、面白いものから始める幸福な出会いをして欲しい。ですが、それは小説ですからそのままでは実演できません。そこで、WS用にチャーホフの面白い短編小説を、大塩が戯曲化します。おそらく戯曲化は日本初となる作品もあるかと思えます。せっかくですから面白いホソで、全力で芝居を楽しみましょう。

ここには演者として近藤講師も参加し、全員でひとつの場面を作っていきます。重要なのは、最初の課題が、ボイトレで修正され、活かされているかです。ここに指導の要点を置き、適宜ボイトレ要素の復習も入れて、実演を高度化していきます。あなたの「かもめ」が羽ばたく瞬間です。

#### 注) 法令遵守の朗読パンダ

弊団は為政者に媚びへつらうことには与しません、法令遵守は厳守しております。舞台昇降用階段の設置も建築基準法に基づいて、客席を潰してでも法定距離を確保しています(守らない団体多いですが)。現状ではWSは通常開催予定ですが、新型コロナウイルスの拡大防止策の段階を引き上げる判断がなされた場合は、ボディコンタクトのあるボイストレーニングはリモート型に切り換える措置を取らせて頂きます。原宿の会場と講師宅を繋ぎ、遠隔で発声や姿勢を見せて頂きます。

対面指導の場合でも、講師はマスクにフェイスガード着用、希望者には非接触型の指導を行います。

なお、対面になるかリモートになるかは直前判断となることをご了承下さい。実演パートは開催する限りスタジオでも対面式です。

また、使用する台本も原作のチャーホフはもちろん、翻訳もパブリックドメインとなったもので、著作権を侵犯することはありません。

#### 【担当講師】

**近藤隆幸** 理学療法士/声優/ナレーター/司会/ボイストレーナー

声優・ナレーターとして活動する中で、声の出し方と向き合うために理学療法士の国家資格を取得。ボイストレーナーとしても、日々魅力的な声の出し方を研究。出演作は、DHC(ラジオCMナレーション)、東京国立博物館ミュージアムシアター(ナビゲーター)、茜さすセカイでキミと詠うスサノオ役(アプリゲーム)、朗読パンダ(舞台)など多数。

**大塩竜也** 高校・大学・予備校で講師を務めながら、漫画原作者としてデビュー。文学研究で培った技術を応用して劇作・授業・演出を行う。漫画や映画の手法を取り入れた映像同期など従来の朗読劇の枠に囚われない演出で朗読パンダを急成長団体へと押し上げる活動を展開中。『世にも奇妙な物語』では短編常連ライターとして奇妙な脚本を執筆。その描き出す世界観は「百年後に評価される」(単行本レビュー)と評される。朗読パンダ全公演の作・演出・総合演出を担当。代表作は、フジテレビ系『世にも奇妙な物語』超短編(2014年秋、17年春、17年秋)、FMとやま『西村まさ彦のドラマチックな課外授業』ラジオドラマ脚本(2018年8月、10月、2020年4月)、『あっ!アシカがっ!!!』(2012年3月、集英社ヤングジャンプコミックス)